



開会式：玉小米リーダーの小学5・6年生の進行で行いました。挨拶は、6年生の純さん。他の5・6年生が作業の手順と注意点を確認し、稲刈りに取り



6月10日(金)に田植え作業を行ってから4か月、10月14日(金)に稲刈りを行いました。畦に並んで自分の範囲を確認し、田に入りました。経験を積んできた上級生たちはさすがです。切り取った稲穂を8株ほどまとめて、後からひもで束ねやすいように置いていきます。初めて稲刈りを体験する小学1年生も、保護者の手を借りな



10月は行事が多く、前号では中学校の駅伝大会、小学校の小体連の話題をお伝えしました。今号ではまず、玉小米の稲刈りと市ロボコン大会の様子をお伝えします。

# 玉小米稲刈り

実りの秋を実感...

玉之浦小中学校だより

# 灯

(あかり)

第 1 4 号  
令和4年10月20日

がら一株ずつ鎌で刈っていました。中学生は田の端から刈り始め、作業の進み具合を確認しながら、稲束にまとめる作業・運搬・稲束をガードレールに掛ける作業・清掃と、人手が足りないところを判断してよく動いてくれました。

途中、マムシが出るハプニングもありました。が、地域や保護者の皆様のご支援を受けながら、2時間ほどで一連の作業を終えることができました。お手伝いいただいた皆様、ありがとうございます。良く実っていました。10月25日(火)脱穀作業を行う予定です。その後、精米して11月の餅つきに備えます。

# 五島市ロボコン大会

準優勝 3 位 チーム「MANTIS」(颯太さん・真一さん・未来さん)  
チーム「とんぼ」(和志さん・太志さん・子母心さん)

10月15日(土) 創造アイデアロボットコンテスト五島市中学生大会が開催されました。7月から製作してきたロボットを手に、本校から中学3年生2チームが挑みました。出場した基礎部門(16チーム出場)の結果は、上記の通り素晴らしいものでした。

予選は4チームでのリーグ戦から始まりました。本校の2チームは、ともに2勝(全勝)を上げて決勝トーナメントに進出。1回戦は、共に競り勝ちました。準決勝でとんぼが奥浦中に惜敗し3位。MANTISは準決勝も制して決勝へ：とんぼを下した奥浦中チームとの対戦：両チームともパーフェクトを達成しました。が、いち早くパーフェクトを達成した奥浦チームが優勝し、MANTISは準優勝になりました。本校の2チームは、11月6日(日)に雲仙市で開催される県大会の出場権を得ました。

【基本ルール】モーター4個を使ってロボットを製作。90秒間で、長さ230mmの丸棒アイテムをゴールに立てた本数を競うものです。



スピードと操作の確実性が勝敗を分けたようです。ロボットの改良と操作練習を積んで、県大会に挑みます。



準優勝「MANTIS」、3位「とんぼ」



### 児童生徒会の発足へ

小中併設校になって4年目を迎え、行事や活動では、互いに学び合えることがあれば、一緒に行ってきた。ただ、小学校の委員会活動と中学校の生徒会活動については、以前の仕組みを踏襲したまま別々に行われてきました。その仕組みを統合して、ひとつの学校として効率よく自治活動を行う準備が進んでいきます。9月には小学4年生と中学3年生が一緒に話し合いを行い、意見を出し合いました。これを受けて、組織の構成・執行部（役員）の構成・選挙規約など、新しい仕組みづくりが進んでいます。次年度につながる具体的な動きとして、現在、

児童生徒会長の選挙期間に入っています。今回から、小学4～6年生も選挙権を持っています。初めての選挙なので事前指導を行い、立候補した中学2年生2名が、小学生向けと、中学生向けに分けて演説会を開いています。統合の過渡期なので、しばらくはいろいろな課題が出てくると思います。が、この過程も学びの場と捉えています。

18歳成人：高校を卒業して、多くが一人暮らしを始めるタイミングで、未成年として守られてきた環境がなくなり、自己責任へ。中学3年生には、わずか3年後のことに：それまでに身に付けなければならぬ力がたくさんありそうです。

### よしなご

県内の定時制・通信制に通う生徒の「生活体験発表会(県大会)」で、「夢が叶うその瞬間まで」と題して発表した五島高校定時制の野口聖哉さんが、最優秀賞(県知事賞)を受賞し、全国大会へ：10月4日(火)長崎新聞の見出し「いつか夢はかなえられる」に目が止まりました。

(記事の要約) 金銭的な事情から、行きたい高校を諦めアルバイトをしながら高校生活を送る野口さんは、小さい頃から絵を描くことが好きだった。高校で「私だけが描ける作品を残したい」と思うようになったが、絵やデザインを学ぶ学校は費用面で厳しく、また諦めることになった。「しかし、決して夢を諦めた訳ではありません。今は実現しなくても、いつかはかなえられる」「今すぐかなわなくても夢は逃げません。逃げるとしたらそれは自分自身の心が夢から逃げたのです」：思うように生きられない人へ「大丈夫。苦悩に立ち向かった私たちだからこそ、きっと明るい未来をつくっていきけるはず」と語った。

18歳の意見発表の言葉の中に、強い芯を感じました。一口に夢と言っても、思いも形も、人生の時期によっても人それぞれ：ただ年齢を重ねるにつれて、夢という言葉が照れくさくなったり、夢と仕事がイコールと狭い意味で解釈されたりしがちです。玉之浦小中学校の子どもたちは、今、夢を語ることができるのかな？

「今の私が描く線は、幼い頃のグルグルと描く線とは違います。夢に向かってまっすぐ、何の迷いもなく、ただがむしゃらに伸びていきける。夢がかなう、その瞬間まで」と結ばれていました。

### 授業改善に向けて



小5・6算数

学力向上は日々の授業の積み重ねの先にあります。教員の側からは、より効果的に、ニーズに合った授業を提供できていくかを検証するために、複数人数で授業を参観する研究授業は、大切な研修の場です。また本校には、小学校と中学校の教員が互いに授業を参観することができ、環境があるので、授業研究も小中混合で行ってきました。

特に夏季休業中には、小中混合の2班で、小学校算数と中学校英語の指導案づくりを十分な時間を取って行いました。この指導案に沿って



中2社会

の指導案に沿って研究授業を行い、実際の授業を視点を決めて検証していく予定です。

### あつがき



八重桜も開花(10月上旬)

●朝晩の気温が下がり、一気に秋の気配が濃くなってきました。9月下旬に咲いた学校の桜の花も、さすがになくなりました。本来の時期でない開花を、狂い咲き・返り咲きというそうで、外的な刺激(虫食い・台風…)が加わり、休眠ホルモンが上手く供給されないと、開花に適した気温が重なり、花が咲くらしいのです。台風が原因と聞いていたのですが、小体連の時に見た中央公園の桜は咲いていませんでした。年が明けて3月と4月、満開のチェリーブロッサムに期待しましょう。

●体調管理が難しい時期でもあります。十分な睡眠、バランスの良い食事、気温の変化に合わせた服装・布団の選択など、ご注意ください。すぐに11月の声が聞こえてきそうです：早いですね。

### ジュニア才能壇

10月10日(月)長崎新聞に掲載された生徒作品です。

- 一日が惜しく感じる中3の夏 3年 颯太さん
- 集まってみんなでおしゃべり花火する 3年 子母心さん
- 汗ながしみんなで成長柏餅 2年 真心さん